

サーバー業務支援システム P o s P o s V e r 3

第 2 部

PosPos インストールガイド
初期設定ガイド

PosPos アンインストールガイド

本ソフトウェアのインストール説明と、初期設定及び設定項目の説明について解説しています。
(Vista で使用される場合は、別紙「Vista の設定」の設定もお願いします)

2 0 1 3 年 0 7 月 1 7 日

有限会社サーバー

プログラム開発元：サーバーシステムズ

始めに

この度は、サーバー業務支援システム P o s P o s をお使いいただき誠にありがとうございます。
下記注意事項をご確認の上ご使用ください。

<注意事項>

本ソフトウェア製品の著作権は有限会社サーバーが所有します。

本ソフトウェア製品は使用を許諾されるもので、販売されるものではありません。

本ソフトウェア製品の使用で生じたいかなる障害・損害につきましても一切責任をおいしません。

目次

はじめに.....	2
目次	3
対応するパソコン環境	4
必要なシステム構成	4
サーバー業務支援システム PosPos を使えるようにするための準備.....	4
1. サーバー業務支援システム PosPos のインストール.....	5
注意.....	5
インストールの方法	5
1. 2 Vista の設定.....	8
2. サーバー業務支援システム PosPos の起動	8
起動方法	8
3. サーバー業務支援システム PosPos の初期設定	10
4. 「セキュリティの警告」を表示させないようにする	12
5. システム設定の説明.....	16
システム	16
システム 2	18
システム 3	21
バックアップ.....	23
レシートプリンタ	25
プライスカード・リスト作成・点検精算・解除キー.....	27
修正リスト・新品・店内・店舗	30
その他	33
5. PosPos のアンインストール	36
コントロールパネルを使って削除する方法	
アンインストール 7 バージョン	
アンインストール 8 バージョン	
インストールで使った Setup ファイルを使って削除する方法	
手動でアンインストールの方法 (Windows7 の場合)	

対応するパソコン環境

必要なシステム構成

本ソフトウェアは、下記の環境で動作するように設計されています。

動作環境

WindowsXP SP3 日本語版／Windows7 日本語版／VISTA／Windows8 日本語版のいずれかが動作するパソコン。

（注意）本ソフトウェアは、Microsoft Access2010 ランタイムを使用しています。

また、データ量によって快適にお使い頂ける環境が違ってきます。下記の動作環境は正常に動くことを確認しています。

		推奨構成
CPU	Pentium3 1GHz 以上	Pentium4 1.3GHz 以上
メモリ	256MB 以上	512MB 以上
ハードディスク	3G 以上の空き容量	←
モニター	800×600 以上のモニター	1024×768 以上
周辺機器	レシートプリンタ (レジ機能として使う場合に必要です。 商品検索だけで使う場合は不要です)	バーコードリーダー カスタマディスプレイ キャッシュドロア ラベルプリンタ

推奨構成のCPU性能、搭載メモリは、データ量（商品アイテム）286,000 タイトル、販売データ 1,000,000 件、買取データ 1,000,000 件で使用して、店頭業務に支障なく使用できる構成です。（弊社直営店で実際に使用しています）

サーバー業務支援システム PosPos を使えるようにするための準備

サーバー業務支援システム PosPos を使うための準備は次の手順で行います。

1. サーバー業務支援システム PosPos のインストール
2. サーバー業務支援システム PosPos の起動
3. サーバー業務支援システム PosPos の初期設定
(レジとして使用する場合は別途設定が必要です。マニュアル「第1部」をご参照ください。)
4. 「セキュリティの警告」を表示させないようにする
5. システム設定の説明

1. サーバー業務支援システム PosPos のインストール

注意

インストールに使用したCD-ROMは、アンインストールに必要です。紛失しないようにお願いします。

またインターネットからダウンロードしてインストールした場合も、アンインストールにそのファイルが必要になります。削除しないようにお願いします。

インストールの方法

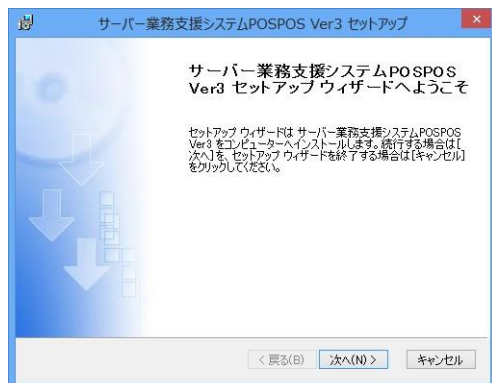
ここでは、CD-ROMに入った本ソフトウェアのインストールを説明します。

基本アプリケーションディスクのインストール

1. 周辺機器・パソコン本体の順に電源をいれます。
2. 「コンピュータの管理者」権限があるユーザーでログオンします。
制限付きアカウントのユーザーはプログラムのインストールができないことがあります。
3. CD-ROMドライブに本ソフトウェア「PosPos 基本アプリケーションディスク」をセットします。セットすると Windows のオートラン機能により自動的にセットアッププログラムが起動します。

お使いの環境によって、セットアッププログラムが自動的に起動しないときがあります。そのような場合は、CD-ROMフォルダの **Setup.exe** を実行してください。

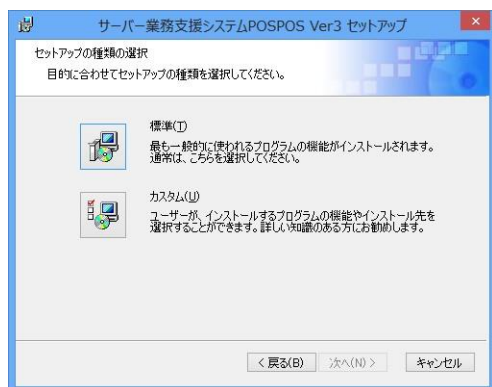
(当社ホームページやインターネットからダウンロードした場合は、ダウンロードしたファイルの中の **Setup.exe** を実行してください。)



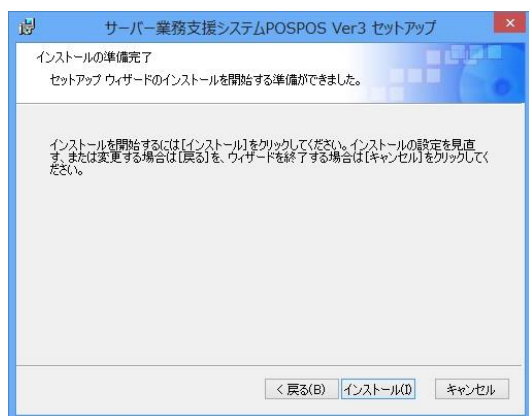
CD-ROM をパソコンにセットします。

Windows のオートラン機能により「サーバー業務支援システム PosPos Ver3 セットアップ」フォームが表示されます。

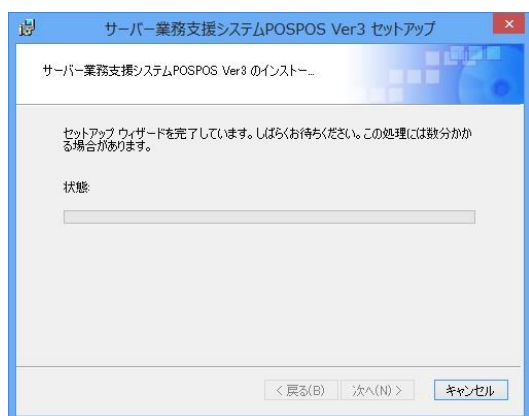
(クリック)
「次へ」をクリックします。



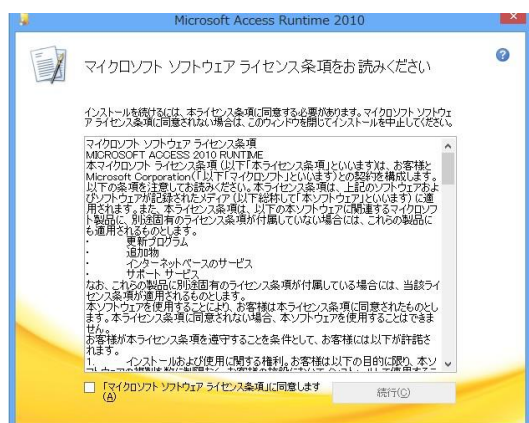
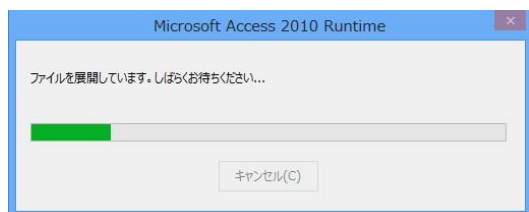
(クリック)
「標準」ボタンをクリックします。



(クリック)
「インストール」 ボタンをクリックします。

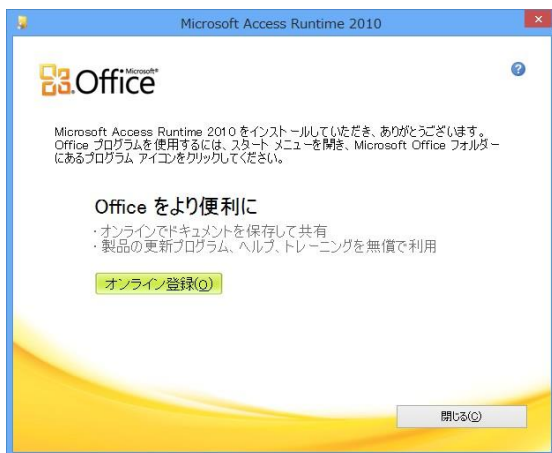


インストールが始まります。



(チェック)
「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」に同意します にチェックします。

(クリック)
「続行」 ボタンをクリックします。



(クリック)
「閉じる」ボタンをクリックします。



(クリック)
「OK」ボタンをクリックします。

以上で、インストールが終わりました。

1. 2 Vista の設定

Vista でサーバー業務支援システム PosPos を使われる場合は、PosPos がインストールされているフォルダのセキュリティ設定を変更する必要があります。

詳しい説明は、CD-ROM やダウンロードされたファイルの中にあります、「Vista の設定.pdf」を参照ください。

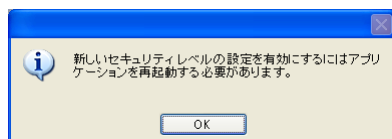
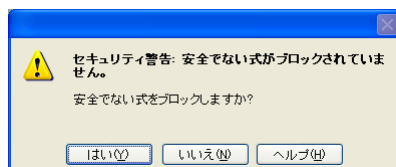
2. サーバー業務支援システム PosPos の起動

起動方法

下記のいずれかの方法で起動することができます。

- ・「スタート」－「すべてのプログラム」－「PosPos Ver3」をクリックすることで本ソフトウェアは起動します。

- ・デスクトップ上にアイコンが表示されます。このアイコンをダブルクリックすることで本ソフトウェアは起動します。



(ダブルクリック)
デスクトップ上の「PosPos Ver3」アイコンをダブルクリックします。

または、左下の「スタート」ボタンより「すべてのプログラム」－「PosPos Ver3」をクリックします。

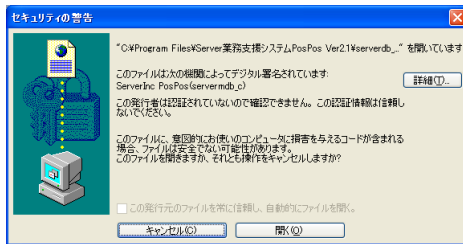
初回起動のとき、「セキュリティ警告」メッセージが表示されます。2回目の起動からは、警告メッセージは表示されず、再起動の必要ありません。

(クリック)
「はい」ボタンをクリックします。

(クリック)
「OK」ボタンをクリックします。

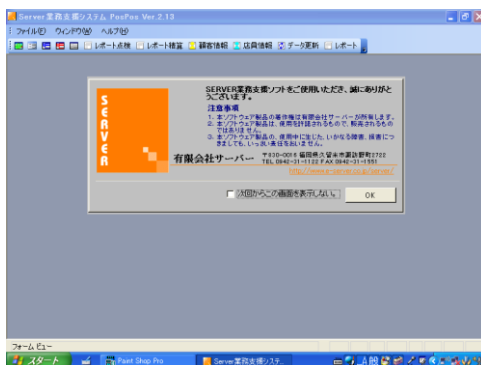


(ダブルクリック)
デスクトップ上のアイコンをダブルクリックして再起動します。



(クリック)
「開く」ボタンをクリックします。

この「セキュリティの警告」フォームを起動のたびに表示しないようにするには、この説明書の11ページ「4. セキュリティの警告を表示させないようにする」をご参照ください。

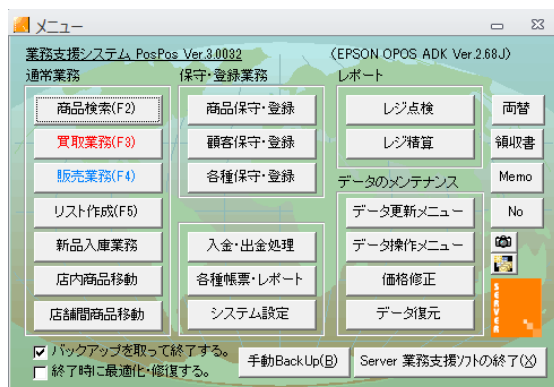


(確認)
左図のような画面が表示されます。

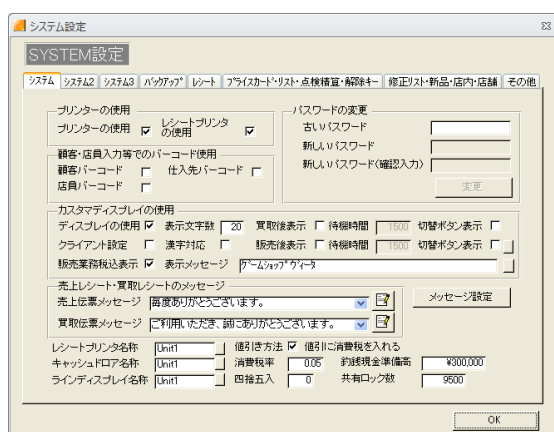
3. サーバー業務支援システム PosPos の初期設定

ここでは、販売レシートや買取レシートに印字される店舗情報等の基本的な項目を説明します。

「メニュー」フォーム－「システム設定」を呼び出します。

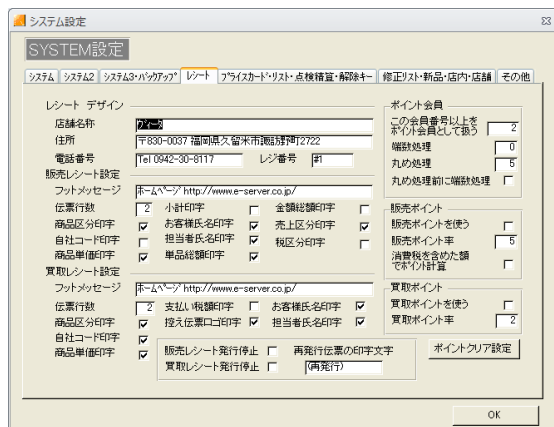


(クリック)
「システム設定」ボタンをクリックします。



(入力)
カスタマディスプレイを使用する場合は、表示メッセージを書き換えてください。

メニューフォームの表示中に、カスタマディスプレイに表示されるメッセージを設定します。



(入力)
「店舗名称」
「住所」
「電話番号」

販売レシート設定の「フットメッセージ」
買取レシート設定の「フットメッセージ」

に、それぞれ入力してください。

SERVER 業務支援システム
■ POSPOS ■

〒830-0037 福岡県久留米市諏訪野町2722
Tel 0942-30-8117

毎度ありがとうございます。
2012年07月12日(木) 11:02 1
(販売) レジ#1 No. 5

PS3 (中古)実況パワフルプロ野球 2012
5,460 x 1点 ¥5,460
HARD(新品)(PS3)PLAYSTATION3(320G/CECH3000B
34,950 x 1点 ¥34,950

消費税等		¥1,924
合計	2点	¥40,410
お預り		¥50,000
お金欠		¥9,590

レジ担当者 1 : 未設定

ホームページ http://www.e-server.co.jp/

(確認)

「店舗住所」画像の下に住所が印字されます。
「電話番号」住所の下に電話番号が印字されます。
「フットメッセージ」レシートの下から2行目に印字されます。

「店舗名称」はレシートに印字されません。

レシートが一番下の「サーバー Pos ソフト
[PosPos]HP:www.e-server.co.jp」を消すためには、「解除キー」が必要です。

解除キーの販売価格は 29,400 円 (税込) となっています。なお、当社からゲーム、DVD、及びトレカ商品データを一年契約で購入されている方は、CM行の削除は無料です。

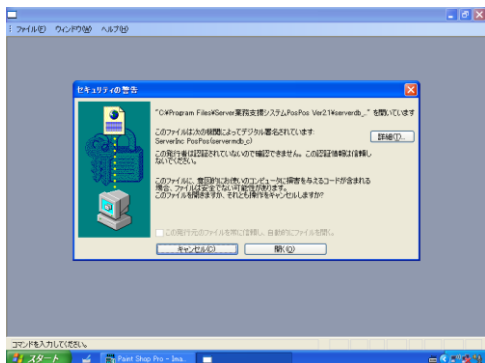
レシートロゴは、Windows の Paint 等の画像ソフトを使って、ご自分で作成・編集することができます。当ソフトウェアをインストールしたフォルダ (標準では、ハードディスク ドライブ ボリューム(C:)ーサーバー業務支援システム POSPOS3) の中の Logo.bmp を編集してください。

Logo の画像の色は「白黒」を選択。サイズはレシートプリンターの印字範囲で大きさを指定します。

4. 「セキュリティの警告」を表示させないようにする

この章では PosPos を起動するたびに表示される、「セキュリティの警告」フォームを表示させないようにするための方法を説明します。

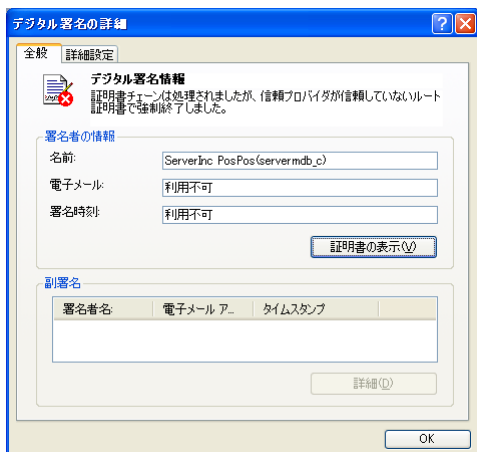
(WindowsXP でのみ「セキュリティの警告」を表示させないようにできます。



起動のたびに表示される、左画面の「セキュリティの警告」フォームを表示させないようにする方法を説明します。

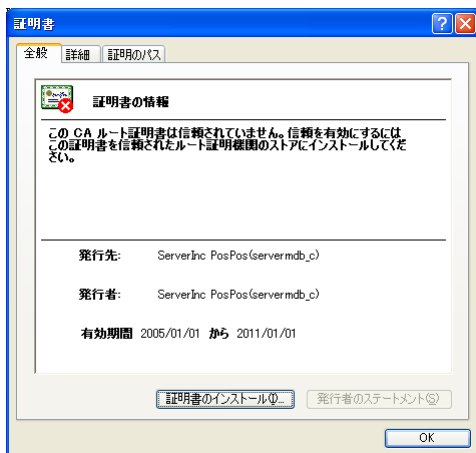
(クリック)

「詳細」 ボタンをクリックします。

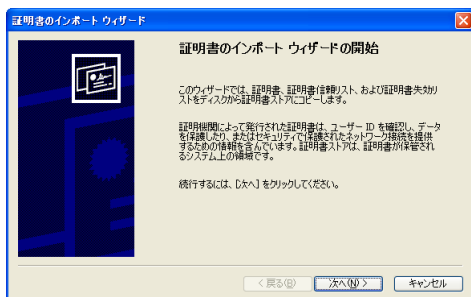


(クリック)

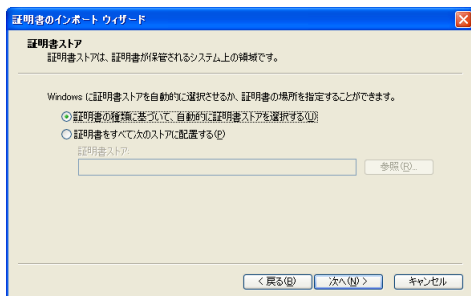
「証明書の表示」 ボタンをクリックします。



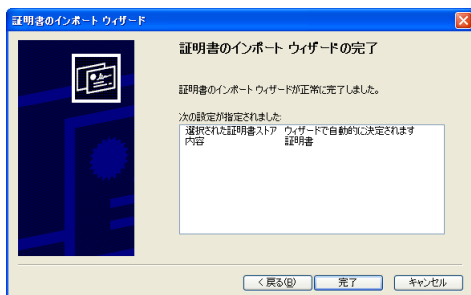
(クリック)
「証明書のインストール」ボタンをクリックします。



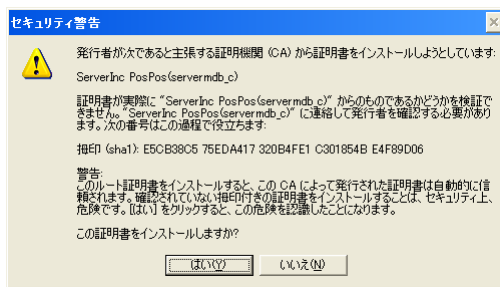
(クリック)
「次へ」ボタンをクリックします。



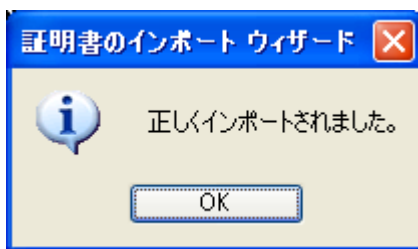
(クリック)
「次へ」ボタンをクリックします。



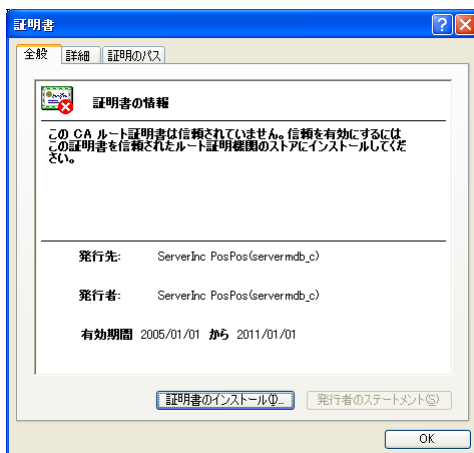
(クリック)
「完了」ボタンをクリックします。



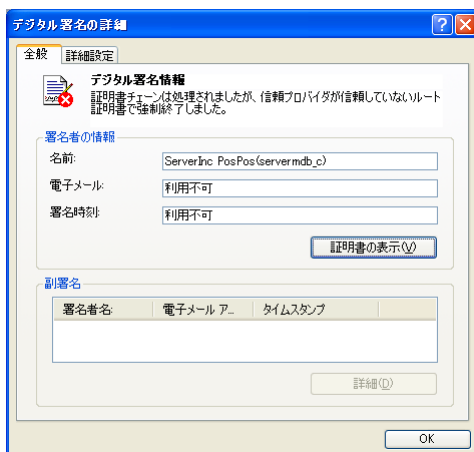
(クリック)
「はい」 ボタンをクリックします。



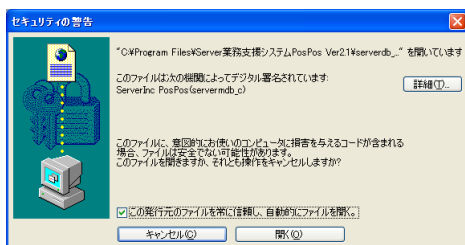
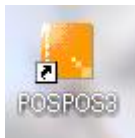
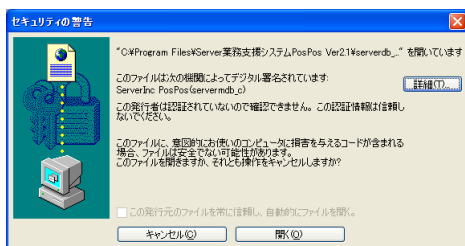
(クリック)
「OK」 ボタンをクリックします。



(クリック)
「OK」 ボタンをクリックします。



(クリック)
「OK」 ボタンをクリックします。



(クリック)
「キャンセル」 ボタンをクリックします。

(ダブルクリック)
PosPos を再び起動させます。

(確認)
「セキュリティの警告」フォームが表示されま
す。

(チェック)
「この発行元のファイルを常に信頼し、自動的
にファイルを開く」チェックボックスにチェッ
クを入れます。

(クリック)
「開く」 ボタンをクリックします。

次回からはこの「セキュリティの警告」は表示
されずに、すぐに PosPos が起動します。

5. システム設定の説明

システム

「システム」の初期設定と説明

	初期値	説明
プリンタの使用	使用する	プリンターを使用するか、否かの選択をします。
レシートプリンタの使用	使用する	レシートプリンタを使用するか、否かの設定をします。
顧客バーコード	使用しない	販売業務や買取業務等で顧客入力にバーコードを使って入力するか、否かの設定をします。
店員バーコード	使用しない	販売業務・買取業務等で店員入力にバーコードを使って入力するか、否かの設定をします。
仕入先バーコード	使用しない	新品仕入業務で仕入先入力にバーコードを使って入力するか、否かの設定をします。
ディスプレイの使用	使用する	カスタマディスプレイを使用するか、否かの設定をします。

表示文字数	20	D T 200・D T 210 は、カタカナのみの表示です。この二つは、20 文字まで表示出来ます。 D T 500 は、漢字も表示できます。30 文字まで表示出来ます。
クライアント設定	使用しない	チェックを入れると、名称が表示されます。パソコン独自のクライアントとして使用が可能です。
漢字対応	使用しない	チェックを入れると、D T 500 であれば漢字も表示されます。
販売業務税込表示	使用する	販売の金額を税込で表示します。
買取後表示	使用しない	買取後に、ディスプレイに表示します。
販売後表示	使用しない	販売後に、ディスプレイに表示します。
待機時間	1500	ディスプレイに表示するまでの時間です。 1500=1.5 秒です。
切替ボタン表示	使用しない	「F 3」の買取業務に<後表示><通常表示中>と、いつディスプレイに表示するかを、選択出来るようになります。
表示メッセージ	ゲームショップ ヴィータ	カスタマディスプレイに表示するメッセージを設定します。
売上伝票メッセージ	毎度ありがとうございます。	売上伝票に印字するメッセージを選択します。
買取伝票メッセージ	ご利用いただき、誠にありがとうございます。	買取伝票に印字するメッセージを選択します。
レシートプリンタ名称	Unit1	レシートプリンタ名称は、opos の設定と同じ名前（半角英数字）で登録します。
キャッシュドロア名称	Unit1	キャッシュドロア名称は、opos の設定と同じ名前（半角英数字）で登録します。
ラインディスプレイ名称	Unit1	ラインディスプレイ名称は、opos の設定と同じ名前（半角英数字）で登録します。
消費税率	0.05	消費税率を指定します。
値引き方法	使用する	値引きに消費税を含めるか、否かの設定をします。
四捨五入	0	四捨五入の設定をします。0 は切り捨て。 5 は四捨五入。9 は切り上げになります。
釣銭現金準備高	300,000	営業開始時の釣銭の準備金を設定します。
共有ロック数	9500	Access 固有の設定です。商品データ（商品アイテム）が大量にあると、共有ロックエラーが発生します。その場合はこの値を変更してください。
パスワードの変更	0000	パスワードの初期設定は[0 0 0 0]です。
メッセージ設定		『お知らせ』の設定をします。
トレカ読み取りカメラボタンを表示する	使用する	チェックを入れると、トレカ読み取りカメラを使用出来ます。

システム 2

システム設定

SYSTEM設定

システム システム2 システム3 バックアップ レポート プライスカード・リスト・点検精算・解除キー 修正リスト・新品・店内・店舗 その他

金額の書き換え許可

パスワード

☒ 買取業務 ☒ 新品在庫業務
☒ 販売業務 ☒ 店内移動業務
☒ リスト作成 ☒ 店舗間移動業務

書換タイトルの先頭に挿入する文字

直接入力タイトルの先頭に追加する文字

☒ 商品検索フォームで直接書換を許可する
(書換記録を残さない)

販売業務の初期値設定

販売業務フォームを開いたとき
売上区分を「新品」にする。 ☐

商品入力ごとに初期値に戻す ☒

在庫がゼロ・またはマイナスの商品を販売
する時、確認メッセージを表示する。 ☐

メール送信設定

メールアドレス

精算メール ☒ メール内容
☒ 営業報告 ☒ 売上買取高 ☐

点検メール ☐

プレビューメール ☐

時間メール ☐ 時間指定

買取自動査定テーブルの書換・保存・読込

☐ 在庫数による買取自動査定を使う 最低買取価格

商品検索フォームで自動査定を使う場合

中古在庫の修正値を設定

買取自動査定テーブルを表示

店内移動業務・商品検索「別在庫へ」

商品を移動させた時、商品情報の累計
金額・本数を増減させる。 ☒

個数入力

マイナス個数入力を許可 ☐

両替時ロゴ印刷

ロゴを印刷する。 ☒

独自価格クリア設定

OK

「システム 2」の初期設定と説明

・ 金額の書き換えの許可

下記項目は、パスワードでロックをかけています。

	初期値	説明
金額の書き換えの許可	すべて True	それぞれの業務フォームで金額の書き換えの許可を設定します。
書換タイトルの先頭に挿入する文字	*	金額を書き換えたということが記録に残るように、書き換えたタイトルの先頭に指定した文字や記号を挿入します。
直接入力タイトルの先頭に挿入する文字	+	直接入力した商品タイトルの先頭に、直接入力したという記録が残るように、商品タイトルの先頭に指定した文字や記号を挿入します。
商品検索フォームで直接書換を許可する(書換記録を残さない)	True	商品検索フォームで直接書換出来るように設定します。直接書換した場合は、書き換えた記録は残りません。

書き換えた記録は、当ソフトウェアをインストールしたフォルダ(標準では、ハードディスク ドライブ ボリューム(C:)-サーバー業務支援システム POSPOS3)の中の「変更ログ.mdb」に記録されています。

• 販売業務の初期値設定

	初期値	説明
販売業務フォームを開いたとき売上区分を「新品」にする。	False	販売業務フォームを開いたときに、売上区分の初期値を設定します。 チェックを入れると「新品」に、チェックを外すと「中古」で販売登録できる状態で販売業務フォームを開きます。 ・取扱商品で「新品」が多い場合はチェックを外し、「中古」が多い場合はチェックを入れて下さい。
商品入力ごとに初期値に戻す	True	販売業務で販売商品登録後に、売上区分の値を初期設定の値に戻します。
在庫がゼロまたはマイナスの商品を販売するときに確認メッセージを表示する。	False	販売業務で商品在庫がゼロかマイナスの場合、確認メッセージを表示します。 (例) 店頭に見本箱を並べている場合、レジを通した時点で、売り切れか、そうでないか判ります。

• 個数入力

	初期値	説明
マイナス個数入力を許可	False	販売業務や買取業務等でマイナス個数の入力ができます。

• メール送信設定

	初期値	説明
メールアドレス		営業報告の送信先のメールアドレスを設定します。
精算メール	True	レジ精算終了後、営業報告メールを送信します。
点検メール	False	レジ点検終了後、営業報告メールを送信します。
プレビューメール	False	プレビュー表示後、営業報告メールを送信します。
時間メール	False	指定の時間に、営業報告メールを送信します。
時間指定	23:05	ここで指定した時間に、営業報告メールを送信します。
メール営業報告	True	営業報告メールのみを送信します。
メール売上買取高	False	売上高と買取高の報告メールを送信します。

- 買取自動査定テーブルの書換・保存・読込

買取自動査定は指定した商品が一定本数以上になると自動的に買取価格を下げる機能です。買取業務で買い取りをする時、商品検索で買取価格を検索する時、自動的に買取価格が変更されます。商品データの金額は書き換わりません。

	初期値	説明
買取自動査定を使う	False	指定本数以上の在庫があると、自動的に買取価格を下げます。
最低買取価格	100	買取自動査定で指定する最低買取価格を指定します。 ・もともと買取価格が安い商品は、自動査定しても金額が小さいので、自動査定は必要ないといった場合に使います。
商品検索フォームで自動査定を使う場合、中古在庫の修正値を設定	1	自動査定を使うにチェックが入っている時、現在の在庫にこの修正値をプラスした本数で自動査定されます。 ・次に買い取りする時の買取価格が表示されます。
買取自動査定テーブルを表示		買取自動査定の設定をします。
Excel に書き出し		買取自動査定の内容をエクセル形式で出力します。
Excel から読み込み		買取自動査定の内容をエクセル形式から読み込みます。

- 店内移動業務・商品検索「別在庫へ」

	初期値	説明
商品を移動させた時、商品情報の累計金額・本数を増減させる。	True	店舗間商品移動業務で商品を移動したとき、新品仕入金額・本数累計や中古買取金額・本数累計から金額及び本数を増減させます。

- 両替時ロゴ印刷

	初期値	説明
両替時ロゴ印刷 ロゴを印刷する。	True	F12、またはメニューフォームの「両替」ボタンでレジを開けたとき、ロゴレシートを印字します。

- 独自価格クリア設定

独自価格とは、弊社が提供するゲームデータ（月2回更新）・DVDデータ（月1回更新）・トレカデータ（月2回更新）の金額に書き換えしたく無い場合に、商品検索フォームの「独自価格」にチェックをいれます。

この「独自価格クリア設定」はチェックをいれた「独自価格」を一括して操作するメニューが表示されます。

システム 3

システム設定

SYSTEM設定

システム

システム2

システム3

バックアップ

レポート

プライスカート・リスト・点検精算・解除キー

修正リスト・新品・店内・店舗

その他

販売・割引設定

割引率

割引額

買取・査定設定

査定率

査定額

レジ操作設定

顧客ランク設定

ショートカットの作成

ショートカットを作成します。

ツールバー表示

ツールバーを表示します。

買取時、指定するメーカー（バーコード）に該当したらメッセージを表示する。

メーカー注意設定

<http://www.e-server.co.jp/server/>

OK

	初期値	説明
販売・割引設定		割引率と割引額の設定をします。
販売割引率		販売業務で「/」（スラッシュ）を入力すると、定率割引ができます。割引率を設定します。
販売割引額		販売業務で「-」（マイナス）を入力すると、定額割引ができます。割引額の設定をします。
買取・査定設定		査定率と査定設定の設定をします。
買取査定率		買取業務で「/」（スラッシュ）を入力すると、定率査定ができます。査定率を設定します。
買取査定額		買取業務で「-」（マイナス）を入力すると、定額割引ができます。割引額の設定をします。
レジ操作設定		レジ操作権限の設定をします。
顧客ランク設定		販売金額や買取金額を使って顧客のランクを一括で入力、変更することができます。

	初期値	説明
ショートカットの作成		Windows のデスクトップ画面やスタートアップ画面にショートカットを作成します。 「スタートアップ」にショートカットを作成しますと、パソコンの電源をいれて Windows を起動するとき、自動的に PosPos が起動します。
ツールバー表示		PosPos のツールバーを削除した場合、再表示させます。
メーカー注意設定		買取業務をするとき、指定するメーカーの買取があった場合、「メーカー注意」を表示します。 買取価格の下落が早いメーカーや故障が多いメーカー等、買取時に注意を喚起できます。

バックアップ

システム設定

SYSTEM設定

システム システム2 システム3 **バックアップ** レシート プライスカード・リスト・点検精算・解除キー 修正リスト・新品・店内・店舗 その他

バックアップ設定

バックアップ先フォルダ バックアップ先を指定しない場合は、このファイルと同じフォルダにバックアップをとります。

フォルダ選択

☐ 常に、メニュー画面の「バックアップを取って終了」にチェックを入れる。

バックアップのファイル名

☒ ファイル名をserverdb_c_backupで保存(バックアップファイルは1つです)

☐ serverdb_c_backupプラス「日付」を付けて保存(複数保存します)

☐ serverdb_c_backupプラス「保存番号」を付けて保存(複数保存します)

保存番号(現在番号) 最終番号

手動バックアップのファイル名 ファイル名を指定しない場合は、上記の設定で保存します。

OK

「バックアップ設定」

ハードディスクやデータの破損など、様々なトラブルが考えられますので、バックアップは複数保存、また別のドライブに保存するようにした方が安全です。

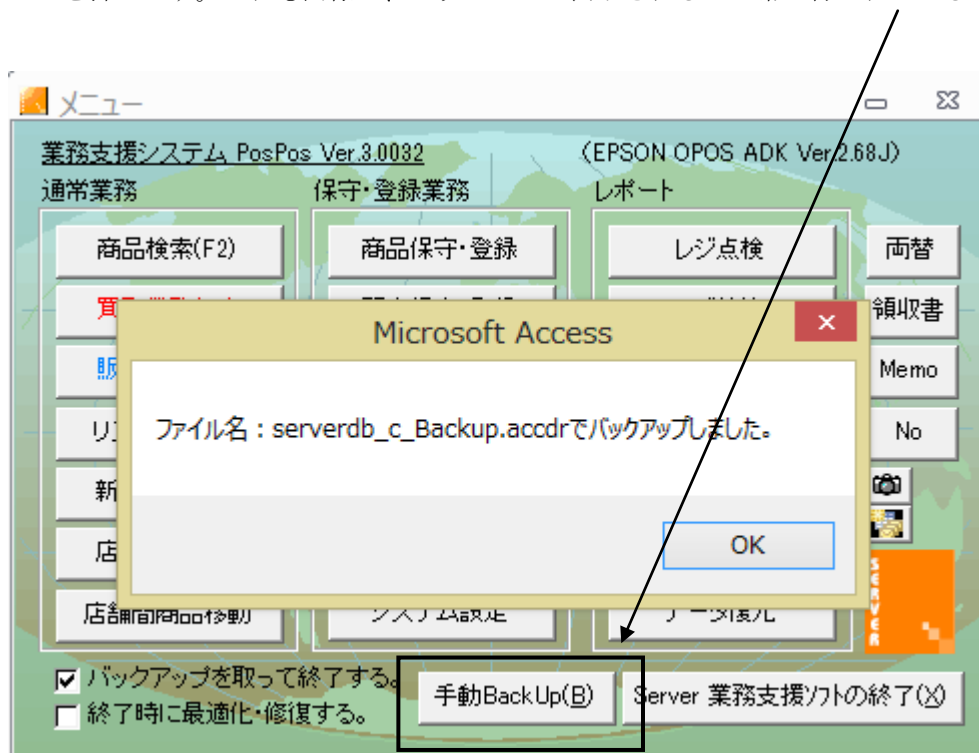
	初期値	説明
バックアップ先フォルダ		バックアップ先フォルダを指定します。フォルダの指定がない場合は、当ソフトウェア PosPos と同じフォルダに保存されます。
常に、メニュー画面の「バックアップを取って終了する」にチェックを入れる。	FALSE	PosPos を終了するとき、バックアップを取るようにします。メニュー画面の「バックアップを取って終了する」に自動的にチェックが入ります。
バックアップのファイル名		バックアップのファイル名を指定します。
手動バックアップのファイル名		ファイル名を指定しない場合は、上記の設定で保存します。設定した場合、その名前で保存されます。

日付を付けて保存する場合、「serverdb_c_2011 年 03 月 28 日.accdr」のようなファイル名になります。同じ日付で保存できませんので、同じ日付で保存する場合は、手動でファイルを削除するか別のフォルダに移動して下さい。

保存番号を付けて保存する場合、「serverdb_c_5.accdr」のようになります。バックアップ毎に新しい番号を付けたバックアップファイルが作成されます。設定しています最終番号まで数字が割り当てられますと「1」に番号が戻ります。その場合、自動的に古いバックアップファイルは上書きされます。

バックアップ時に、メニュー画面の「バックアップを取って終了する。」をチェックし、「×」印を押して終了すると、下図のようにメッセージが表示されます。（下図は serverdb_c_Backup.accdrで行っています。）表示されると、正常に行われていることを表します。

手動 Backup は設定した名前前で保存され、下図にあるメニュー画面の「手動 Backup (B)」ボタンを押します。これも同様に、メッセージが表示されると正常に行われていることを表します。



レシートプリンタ

システム設定

SYSTEM設定

システム

システム2

システム3

バックアップ

レシート

プライスカート・リスト・点検精算・解除キー

修正リスト・新品・店内・店舗

その他

レシート デザイン

店舗名称

住所

電話番号

レジ番号

販売レシート設定

フットメッセージ

伝票行数

商品区分印字

自社コード印字

商品単価印字

買取レシート設定

フットメッセージ

伝票行数

商品区分印字

自社コード印字

商品単価印字

ポイント会員

この会員番号以上をポイント会員として扱う

端数処理

丸め処理

丸め処理前に端数処理

販売ポイント

販売ポイントを使う

販売ポイント率

消費税を含めた額でポイント計算

買取ポイント

買取ポイントを使う

買取ポイント率

ポイントクリア設定

支払い税額印字

控え伝票ロゴ印字

販売レシート発行停止

買取レシート発行停止

お客様氏名印字

担当者氏名印字

再発行伝票の印字文字

(再発行)

金額総額印字

売上区分印字

税区分印字

単品総額印字

OK

「レシートデザイン」

	初期値	説明
店舗名称	—	店舗の名称を設定します。
住所	—	店舗の住所を設定します。
電話番号	—	電話番号を設定します。
レジ番号	# 1	レジを複数台で使用するときに、レジ番号を設定します。

「販売レシート設定」

	初期値	説明
フットメッセージ	—	レシートの末尾に表示するメッセージを設定します。
伝票行数	2	販売登録アイテムのタイトル・金額等を2行に分けて印字します。1 か 2 で設定して下さい。
商品区分印字	True	商品区分を印字します。
自社コード印字	False	自社コードを印字します。
商品単価印字	True	商品単価を印字します。
小計印字	False	小計を印字します。

お客様氏名印字	True	お客様の氏名をレシートに印字します。
担当者氏名印字	True	担当者の氏名をレシートに印字します。
単品総額印字	True	商品単価を税込価格で印字します。
金額総額印字	False	商品合計を税込価格で印字します。
売上区分印字	True	売上区分を印字します。
税区分印字	False	税区分を印字します。

「買取レシート設定」

	初期値	説明
フットメッセージ	—	レシートの末尾に表示するメッセージを設定します。
伝票行数	2	買取登録アイテムのタイトル・金額等を2行に分けて印字します。1か2で設定して下さい。
商品区分印字	True	商品区分を印字します。
自社コード印字	True	自社コードを印字します。
商品単価印字	True	商品単価を印字します。
支払い税額印字	False	支払い税額を印字します。
控え伝票ロゴ印字	True	店舗控え伝票に店舗ロゴを印字します。
お客様氏名印字	True	お客様の氏名をレシートに印字します。
担当者氏名印字	True	担当者の氏名をレシートに印字します。

「ポイント会員」

	初期値	説明
この会員番号以上をポイント会員として扱う	2	この会員番号以上をポイント会員として扱います。この値未満の登録顧客はポイントが付きません。
端数処理	0	ポイントの端数処理を設定します。0は切り捨て、5は四捨五入、9は切り上げになります。
丸め処理	5	ポイントの丸め処理を設定します。5を設定すると5ポイント単位でポイントが計算され、10を入力すると10ポイント単位でポイントが計算されます。
丸め処理前に端数処理	False	丸め処理をしてポイントを計算するか、否か設定します。
販売ポイントを使う	False	販売ポイントを使うか、否か設定します。
販売ポイント率	5	販売ポイントを販売額に対して何パーセントにするか設定します。パーセントで入力してください。
消費税を含めた額でポイント計算	False	消費税を含めた金額でポイント算出します。
買取ポイントを使う	False	買取ポイントを使うか、否か設定します。
買取ポイント率	2	買取ポイントを買取額に対して何パーセントにするか設定します。パーセントで入力してください。

プライスカード・リスト作成・点検精算・解除キー

「プライスカード・リスト作成・点検精算・解除キー」の初期設定と説明

「プライスカード設定」

	初期値	説明
タイプ1～4,6～9で作成	True	プライスカードの表示タイプ1～4,6～9で作成します。詳しくはマニュアル第3部を参照して下さい。
表示タイプを選択します。1～4,6～9を入力して下さい。	6	プライスカードの表示タイプを選択します。詳しくはマニュアル第3部を参照して下さい。
本体価格を印字する	False	プライスカードに本体価格を印字します。
消費税額を印字する	True	プライスカードに消費税額を印字します。
商品区分を印字する	True	プライスカードに商品区分を印字します。
ジャンルを印字する	True	プライスカードに商品ジャンルを印字します。
買取終了時に、プライスカードを発行する。		買取終了時に、プライスカードを発行するか否か設定します。
レシートプリンタとラベルプリンタの2台を接続して使う。	False	レシートプリンタとラベルプリンタの2台接続して使う場合は、チェックを入れて下さい。2台同時に接続して使えるようになります。
ラベル機名称	Unit2	ラベルプリンタの名称を設定します。

	初期値	説明
表示タイプ 5: プライスカード設定		表示タイプ 5 は印字の設定ができます。ここで詳細を設定して下さい。
別在庫 販売・プライスカード設定		プライスカードに表示する「売上区分」を変更することができます。また、別在庫販売金額の設定をすることができます。

「リスト作成」

	初期値	説明
レシート印刷時、ドロアを開く	True	レシートプリンタにリスト作成の内容を印字するとき、キャッシュドロアを開く可否を設定します。
販売金額の設定		販売金額の設定を、本体価格・税込み価格・DATA 価格の中から選択できます。 本体価格は、税抜価格です。 税込み価格は、全て税込み価格で表示しています。 DATA 価格は、内税のものは内税、外税のものは外税で表示されます。内税・外税が混在している場合は、こちらをご利用ください。
印刷後、リスト削除		印刷後、作成したリストを削除することができます。
レシートロゴの印字		レシートにロゴを印字することができます。
買取価格の自動査定		システム 2 の「買取自動査定テーブルを表示」で設定した項目で反映されます。

「点検・精算」

	初期値	説明
時間帯売上高を総額表示する。	True	時間帯売上高レポートを総額表示で印字するか、否か設定します。
部門別売上高を総額表示する。	True	部門別売上高レポートを総額表示で印字するか、否か設定します。
売上買取高・現金残高点検の売上を総額表示する。	True	売上買取高・現金残高点検レポートを総額表示で印字するか、否か設定します。
商品区分でゼロ項目を印字しない。		商品区分（PlayStation3 やDVD など種類の名前）で売上がなかったものに関しては、印字しません。
販売区分でゼロ項目を印字しない。		販売区分（ゲーム・音楽CD・BOOK など）で売上がなかったものに関しては、印字しません。
売上区分でゼロ項目を印字しない。		売上区分（新品・中古・値引など）で売上がなかったものに関しては、印字しません。
売上本数ベスト	20	商品タイトル別の売上本数ランキングを上位いくつまで印字するか指定します。
売上金額ベスト	20	商品タイトル別の売上金額ランキングを上位いくつまで印字するか指定します。

売上顧客ベスト	20	顧客別の売上高ランキングを上位いくつまで印字するか指定します。
買取本数ベスト	20	商品タイトル別の買取本数ランキングを上位いくつまで印字するか指定します。
買取金額ベスト	20	商品タイトル別の買取金額ランキングを上位いくつまで印字するか指定します。
買取顧客ベスト	20	顧客別の売上高ランキングを上位いくつまで印字するか指定します。

「商品情報・販売累計金額」

	初期値	説明
販売したとき、商品情報の累計額に消費税額を加算して計算する。	True	販売したときに、「商品情報検索」フォームに表示される販売金額累計額に、消費税を含めた金額で計算するか、否か設定します。

「登録キー・解除キー」

	初期値	説明
解除キーの登録	—	「解除キーの登録」のボタンを押すと、下図の「解除キー」フォームになります。 販売・買取レシートに印字される、本ソフトウェア製品名を消すときは、登録キーをメール、FAX 等でお知らせください。

解除キー

解除キーの登録

登録キー

247K6-J421-6689-P2

登録キー送信

解除キー

レシートの最後に印字される当ソフトのCMを解除します。

12357-695C-3J09-P2

データ更新キー

ゲームデータ更新キー

150515659-54575672-51745163

DVDデータ更新キー

150519577-54579590-51749081

カードデータ更新キー

150520466-54580479-51749970

閉じる

修正リスト・新品・店内・店舗

「修正テーブルの書換・保存・読込」

- ・「メニュー」→「金額修正」→「金額指定修正」

	初期値	説明
中古販売修正テーブル		中古販売金額の修正テーブルを表示します。
Excel に書き出し		中古販売金額修正テーブルの内容をエクセル形式のファイルで出力します。
Excel から読み込み		中古販売金額修正テーブルをエクセル形式のファイルから読み込みます。
買取修正テーブル		買取金額の修正テーブルを表示します。
Excel に書き出し		買取金額修正テーブルの内容をエクセル形式のファイルで出力します。
Excel から読み込み		買取金額修正テーブルをエクセル形式のファイルから読み込みます。

「商品検索」

	初期値	説明
マウスホイールの使用		マウスホイールを使用するか、否か設定します。

「新品入庫伝票」

	初期値	説明
印刷	True	新品入庫伝票を印刷するか、否か設定します。
商品区分印字	True	新品入庫伝票に商品区分を印字するか、否か設定します。
コード印字	True	新品入庫伝票にコードを印字するか、否か設定します。
単価印字	True	新品入庫伝票に仕入単価を印字するか、否か設定します。
伝票行数	2	「2」の場合、入庫商品のタイトル・金額等を2行に分けて印字します。1か2で設定して下さい。
確認伝票を印刷するか 印刷するときは2を設定	2	「2」が設定されている場合、確定前に入庫確認伝票が印刷されます。

「店舗間移動伝票」

	初期値	説明
店舗間店舗バーコード	False	店舗入力にバーコードを使います。
入庫処理はファイルから しか受け付けない	False	入庫処理をするときは、移動ファイルからしか受け付けないようにします。
出庫伝票ファイルを出力 する	True	出庫処理時に、出庫伝票ファイルを出力します。このファイルを使って、入庫処理が行えます。
商品情報の累計本数・金額 の増減をします。	True	店舗間で商品移動したときに、商品情報にある累計本数及び累計金額を増減します。
印刷	True	店舗間移動伝票を印刷するか、否か設定します。
商品区分印字	True	店舗間移動伝票に商品区分を印字するか、否か設定します。
コード印字	True	店舗間移動伝票にコードを印字するか、否か設定します。
単価印字	True	店舗間移動伝票に仕入単価を印字するか、否か設定します。
伝票行数	2	「2」の場合、移動商品のタイトル・金額等を2行に分けて印字します。1か2で設定して下さい。
確認伝票を印刷するか 印刷するときは2を設定	2	「2」が設定されている場合、確定前に店舗間移動確認伝票が印刷されます。

「店内移動伝票」

	初期値	説明
印刷	True	店内移動伝票を印刷するか、否か設定します。
商品区分印字	True	店内移動伝票に商品区分を印字するか、否か設定します。
コード印字	True	店内移動伝票にコードを印字するか、否か設定します。
単価印字	True	店内移動伝票に仕入単価を印字するか、否か設定します。
買取価格で累計額の増減をします。	True	店内移動の際、買取価格で累計額の増減をするか、否か設定します。
伝票行数	2	「2」の場合、移動商品のタイトル・金額等を2行に分けて印字します。1か2で設定して下さい。
確認伝票を印刷するか 印刷するときは2を設定	2	「2」が設定されている場合、確定前に店内移動確認伝票が印刷されます。

その他

システム設定

SYSTEM設定

システム

システム2

システム3・バックアップ

レポート

プライスカート・リスト・点検精算・解除キー

修正リスト・新品・店内・店舗

その他

☐ 買取前、中古在庫が「0」であった商品のリストを印刷する。
☐ 販売後、在庫が「0」になった商品のリストを印刷する。
☐ 中古在庫が「0」になった商品を印刷する
☐ 新品在庫が「0」になった商品を印刷する

点検精算時
新品売り切れリスト
印刷項目設定

☒ バーコード
☒ 製品コード
☒ 定価
☒ リスト日時
☒ 伝票ID
☒ 個数
☒ 現在在庫
☒ 区切り線

予約受付

印刷部数

1

取置期間初期値

7

前金処理バーコード

29999

入金処理バーコード

29999

売上区分初期値

新品

内金初期値

¥500

印字テンプレート編集

メールテンプレート編集

販売後印刷

ファイルの編集

テスト印字

ファイル選択

テキスト

販売アンケート.txt

買取後印刷

ファイルの編集

テスト印字

ファイル選択

テキスト

買取アンケート.txt

画像表示URL:

http://www.e-server.co.jp/php/POPimg1.php

POP作成URL:

http://www.e-server.co.jp/php/POPStyle1.php

Package作成:

http://www.e-server.co.jp/php/Package1.php

http://www.e-server.co.jp/server/

OK

「その他」

	初期値	説明
買取前、中古在庫が「0」であった商品を印刷する	False	買取前に在庫がなかった商品を印刷します。
販売後、在庫が「0」になった商品を印刷する	False	販売後、在庫がなくなった商品を印刷します。
中古在庫が「0」になった商品を印刷する	False	販売後、中古で売り切れた商品を印刷します。
新品在庫が「0」になった商品を印刷する	False	販売後、新品で売り切れた商品を印刷します。

33

「点検精算時 新品売り切れリスト 印刷項目設定」

レジ点検・レジ精算をした時に、新品売り切れリストに印字する項目を設定します。

	初期値	説明
バーコード	True	バーコードを印字します。
製品コード	True	製品コードを印字します。
定価	True	定価を印字します。
リスト日時	True	リスト作成日を印字します。
伝票 ID	True	売り切れになった時の伝票 ID を印字します。
個数	True	売り切れになったときの、販売個数を印字します。
現在在庫	True	今の在庫を印字します。
区切り線	True	商品タイトルと商品タイトルの間に区切り線を印字します。

「予約受付」

	初期値	説明
印刷部数	1	印刷部数を設定します。
取置期間初期値	7	予約受付フォームを開いた時に、表示される取置期間の初期値を設定します。
前金処理バーコード	29999	予約商品販売の時、前金で受け取った内金を入力するときに使うバーコードを設定します。
入金処理バーコード	29999	前金の入金があったときに使うバーコードを設定します。
売上区分初期値	新品	予約受付フォームを開いた時に、表示される、売上区分の初期値を設定します。
内金初期値	¥500	予約受付フォームを開いた時に、表示される内金の初期値を入力します。
印刷テンプレート編集		予約伝票の印刷テンプレートを編集します。
メールテンプレート編集		在庫メールを送信するときのテンプレートを編集します。

「販売後印刷・買取後印刷」

	初期値	説明
販売後印刷	True	販売業務終了後、テキストファイルの内容を印刷します。
買取後印刷	True	買取業務終了後、テキストファイルの内容を印刷します。
ファイルの編集		テキストファイルを編集します。
テスト印刷		テスト印刷します。
ファイル選択		印刷するテキストファイルを選択します。

「画像表示アドレス・POP 作成アドレス・Package 作成アドレス」

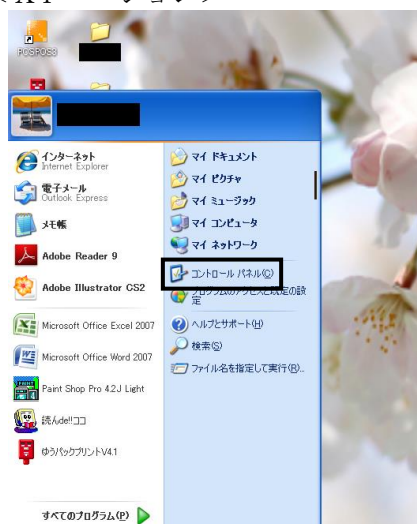
	初期値	説明
画像表示 URL :	—	商品検索画面から、商品画像を検索するアドレスを指定します。
POP 作成 URL :	—	商品検索画面から、商品画像を表示して、さらに商品 P O P の表示・作成するためのアドレスを指定します。 初期では、 http://www.e-server.co.jp/php/POPStyle1.php になっていますが、下線の部分を <u>POPStyle2</u> に変えると別のスタイルの POP を作ることも可能です。
Package 作成		商品検索画面から、Package を検索するアドレスを指定します。

5. PosPos のアンインストール

アンインストールの方法（コントロールパネルを使って削除する方法）

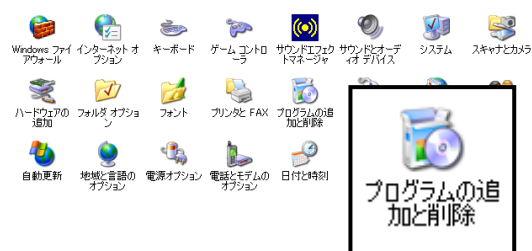
最初に新しい PosPos を登録する際に新しい Runtime も追加されるので、現在の Runtime を削除します。その後、使用していた PosPos を削除します。

＜X Pバージョン＞

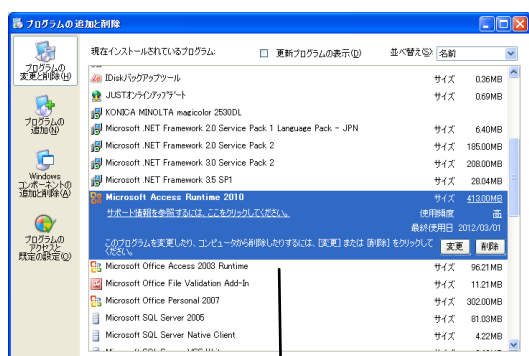


「スタート」－「コントロールパネル」を選択します。

（クリック）
コントロールパネルをクリックします。



（ダブルクリック）
「コントロールパネル」の中の、「プログラムの追加と削除」をダブルクリックします。



「プログラムの追加と削除」の中から、「Microsoft Office Runtime 2010」を選択します。

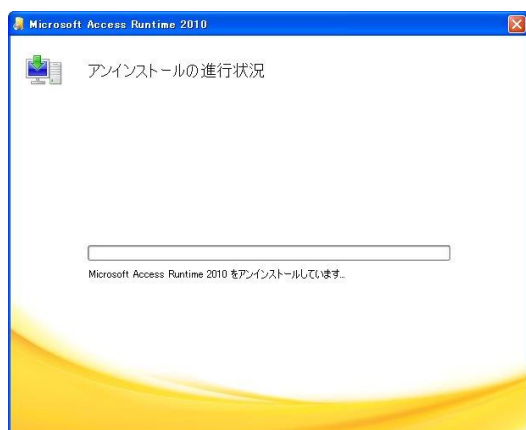
（クリック）
「削除」をクリックします。





「コンピューターから Microsoft Office Runtime 2010 を削除してもよろしいですか?」と表示されます。

(クリック)
「はい」をクリックします。

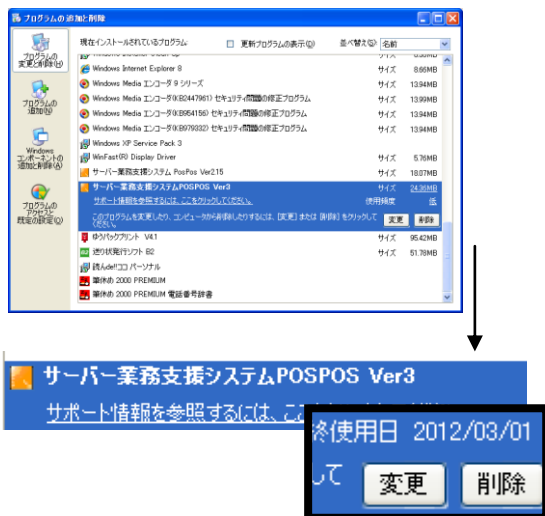


削除が始まります。



(クリック)
「閉じる」をクリックします。

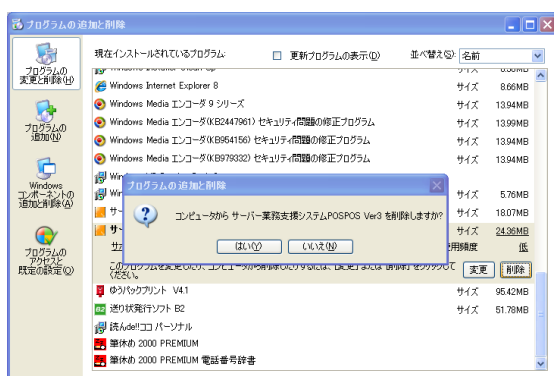
正常に削除されていると、「プログラムの追加と削除」の欄から、「Microsoft Office Runtime 2010」が消えています。



次に、「PosPos3」をアンインストールします。

「Microsoft Office Runtime 2010」の削除と同様に、「スタート」－「コントロールパネル」－「プログラムの追加と削除」の中から、「サーバー業務支援システム POSPOS Ver3」を選択します。

(クリック)
「削除」をクリックします。



「コンピュータからサーバー業務支援システム POSPOS Ver3 を削除しますか？」と表示されます。

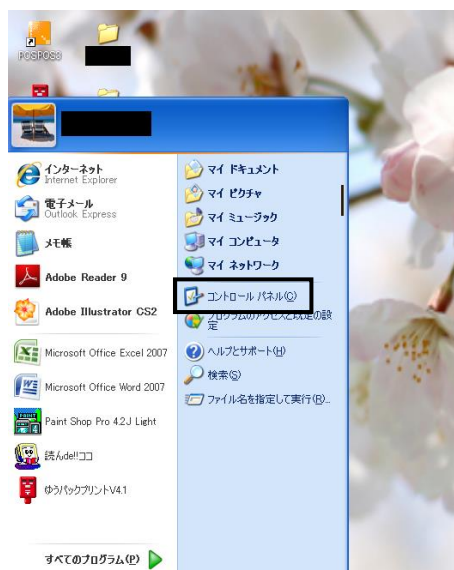
(クリック)
「はい」をクリックします。

削除が始まります。

正常に削除されていると、「プログラムの追加と削除」の欄から、「サーバー業務支援システム POSPOS Ver3」が消えています。

以上でアンインストールが終わりました。

アンインストールの方法<7 バージョン>

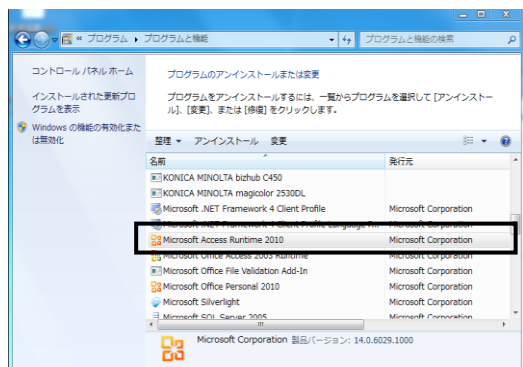


「スタート」－「コントロールパネル」を選択します。

(クリック)
コントロールパネルをクリックします。



(ダブルクリック)
「コントロールパネル」の中の、「プログラム/プログラムのアンインストール」をダブルクリックします。



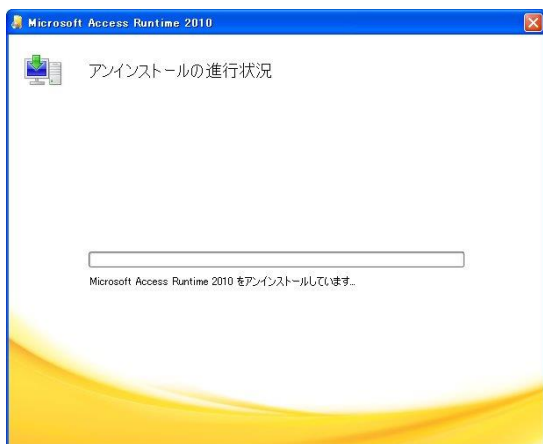
「プログラムの追加と削除」の中から、
「Microsoft Office Runtime 2010」を選択します。

(クリック)
「削除」をクリックします。



「コンピューターから Microsoft Office Runtime 2010 を削除してもよろしいですか?」と表示されます。

(クリック)
「はい」をクリックします。



削除が始まります。



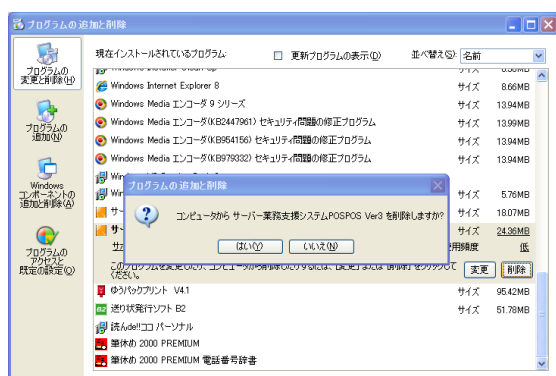
正常に削除されていると、「プログラムの追加と削除」の欄から、「Microsoft Office Runtime 2010」が消えています。



次に、「PosPos3」をアンインストールします。

「Microsoft Office Runtime 2010」の削除と同様に、「スタート」－「コントロールパネル」－「プログラムの追加と削除」の中から、「サーバー業務支援システ POSPOS Ver3」を選択します。

(クリック)
「削除」をクリックします。



「コンピュータからサーバー業務支援システ POSPOS Ver3 を削除しますか?」と表示されます。

(クリック)
「はい」をクリックします。

削除が始まります。

正常に削除されていると、「プログラムの追加と削除」の欄から、「サーバー業務支援システ POSPOS Ver3」が消えています。

以上でアンインストールが終わりました。

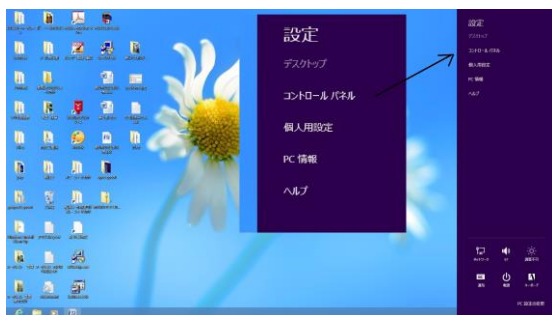
アンインストールの方法<8バージョン>



マウスをデスクトップの右下に合わせます。



(クリック)
「設定」をクリックします。



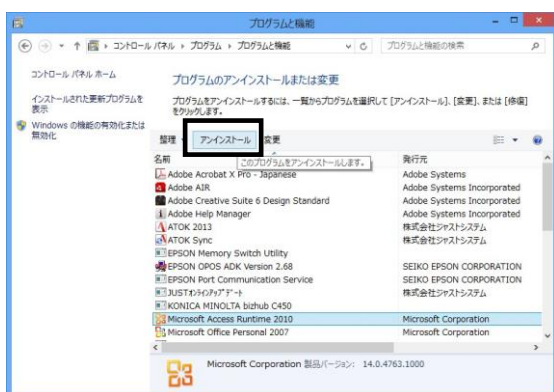
(クリック)
「コントロールパネル」をクリックします。



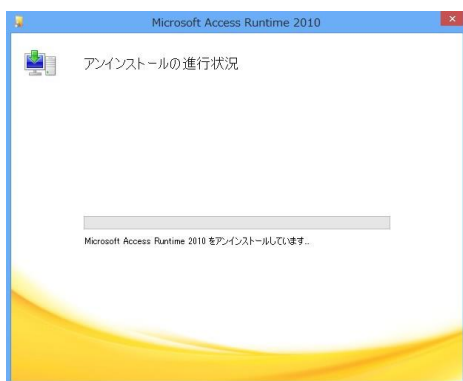
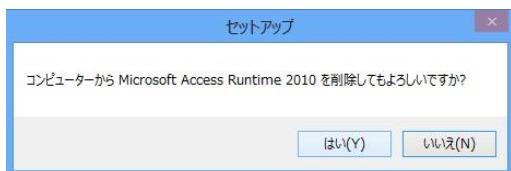
(クリック)
「プログラム/プログラムのアンインストール」をクリックします。



(選択)
「Microsoft Office Runtime 2010」を選択します



(クリック)
「アンインストール」をクリックします。



(クリック)
「はい」をクリックします。

削除が始まります。

(クリック)
「閉じる」をクリックします。

正常に削除されていると、「プログラムの追加と削除」の欄から、「Microsoft Office Runtime 2010」が消えています。

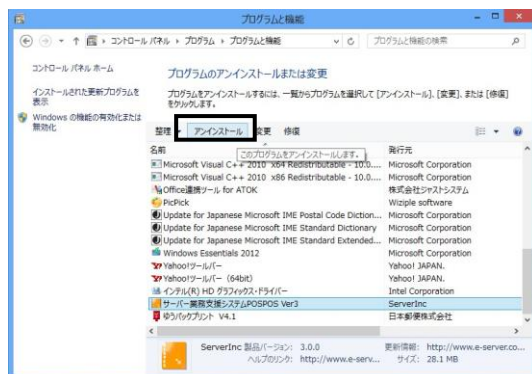
以上でアンインストールが終わりました。



次に、「PosPos3」をアンインストールします。

「Microsoft Office Runtime 2010」の削除と同様に、まずマウスをデスクトップの右下に合わせます。

「設定」－「コントロールパネル」－「プログラムのアンインストール」の中から、「サーバー業務支援システ POSPOS Ver3」を選択します。



(クリック)

「アンインストール」をクリックします。



「サーバー業務支援システ POSPOS Ver3 をアンインストールしますか?」と表示されます。

(クリック)

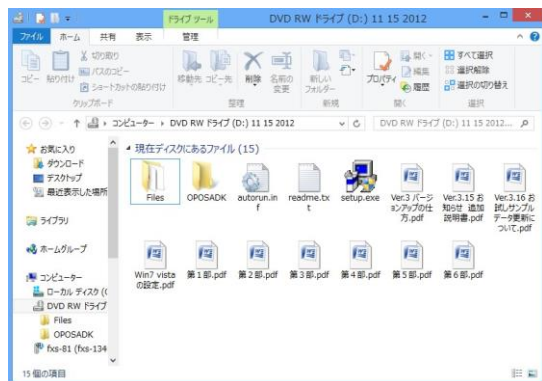
「はい」をクリックします。

削除が始まります。

正常に削除されていると、「プログラムの追加と削除」の欄から、「サーバー業務支援システ POSPOS Ver3」が消えています。

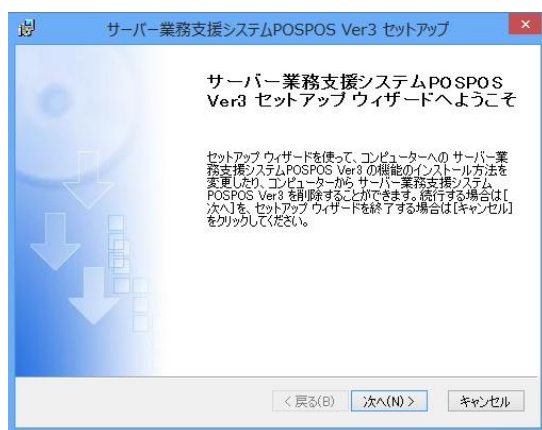
以上でアンインストールが終わりました。

アンインストールの方法（インストールで使った Setup ファイルを使って削除する方法）

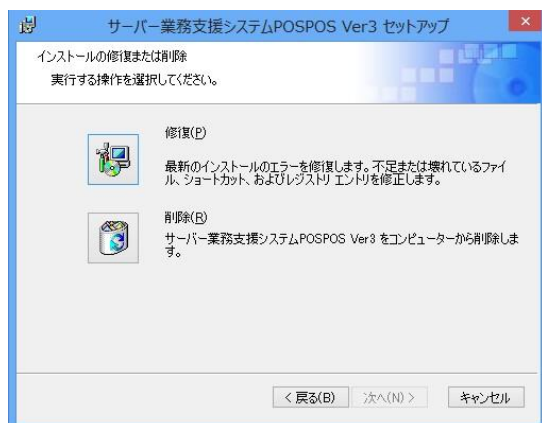


CD-ROM をセットします。または、インストールで使ったフォルダを開きます。

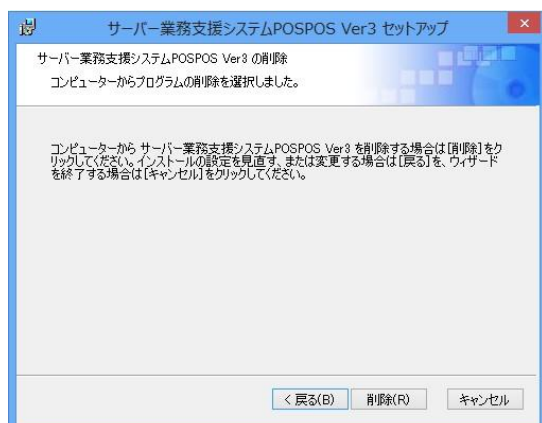
（ダブルクリック）
SETUP をダブルクリックします。



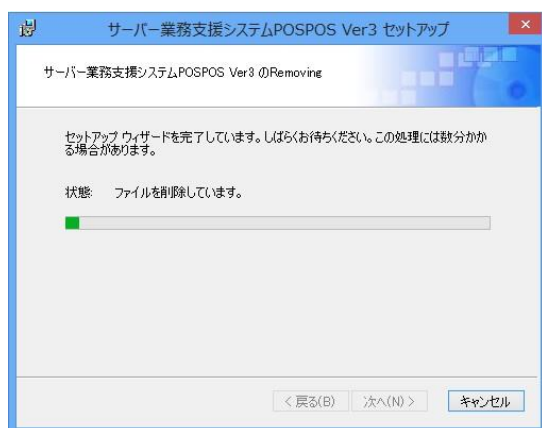
（クリック）
「次へ」をクリックします。



（クリック）
「削除」をクリックします。



(クリック)
「削除」をクリックします。



削除が始まります。

正常に削除されていると、「プログラムの追加と削除」の欄から、「サーバー業務支援システム POSPOS Ver3」が消えています。

以上でアンインストールが終わりました。

手動でアンインストールの方法（Windows7 の場合）

Windows7 にインストールされた POSPOS をアンインストールする場合は、CD-ROM やダウンロードされたファイルの中にあります、「POSPOS の削除方法(Win7).pdf」を参照ください。